

# 平成30年3月期 決算補足説明資料

平成30年 5月9日

福山通運株式会社

(単位：百万円/%)

項目	平成30年3月期	平成29年3月期	前期比
売上高	267,799	255,677	104.7%
営業費用	253,072	244,633	103.4%
営業利益 (営業利益率)	14,726 ( 5.5 )	11,044 ( 4.3 )	133.3%
経常利益 (経常利益率)	16,119 ( 6.0 )	12,967 ( 5.1 )	124.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,664	9,448	112.9%

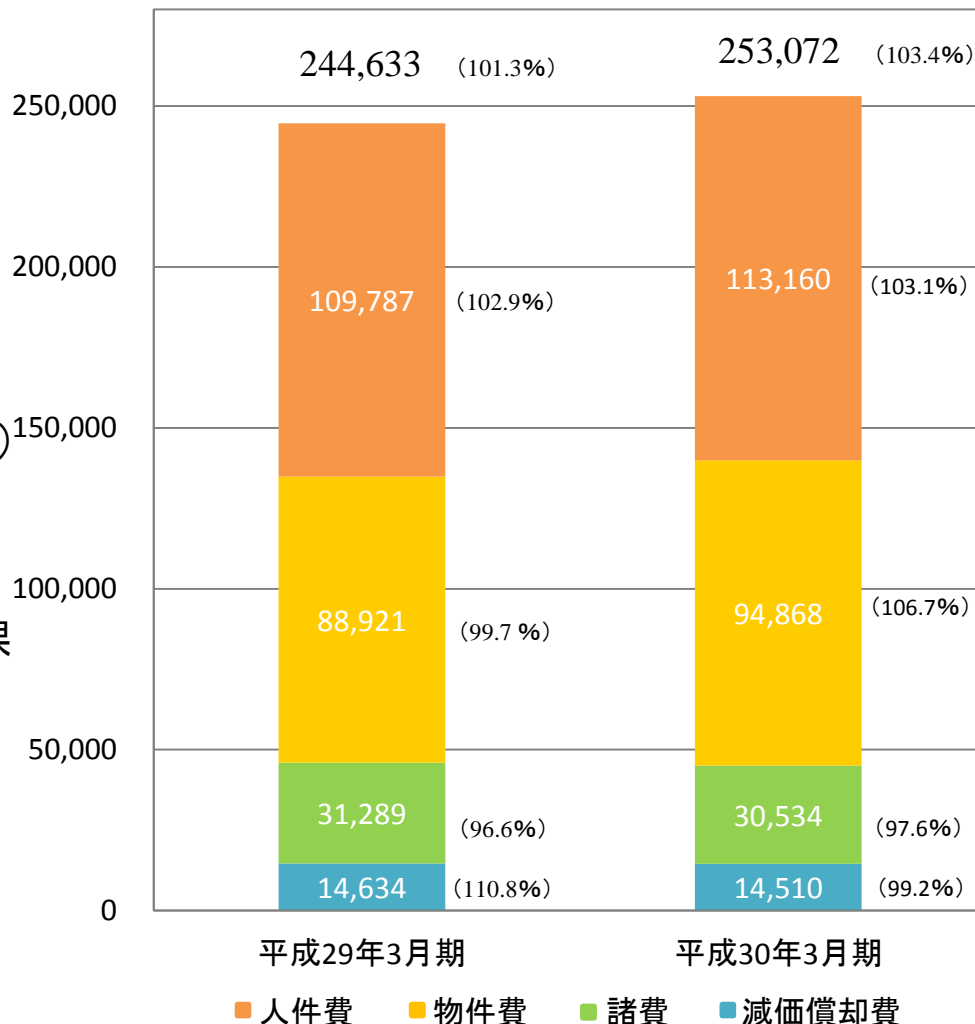
売上高は、堅調な輸送量と単価改定により、前期比+4.7%となりました  
 営業費用は、外注人件費や備車費等の増加や燃料価格の上昇等により、前期比+3.4%となりました  
 営業利益は、売上高の増加により前期比+33.3%となりました

# 連結営業費用の増減要因

- **人件費**  
 輸送量の増加による外注人件費が大幅増加(+1,824百万円)
- **物件費**  
 備車費(+3,767百万円)は、物量が増加したものの業務の効率化により想定よりも抑制。燃料油脂費は、価格の上昇により増加(+1,493百万円)
- **諸費**  
 取扱手数料が大幅に減少(△1,096百万円)するものの、租税公課(+567百万円)及び国際関係費(+473百万円)が増加
- **減価償却費**  
 △124百万円

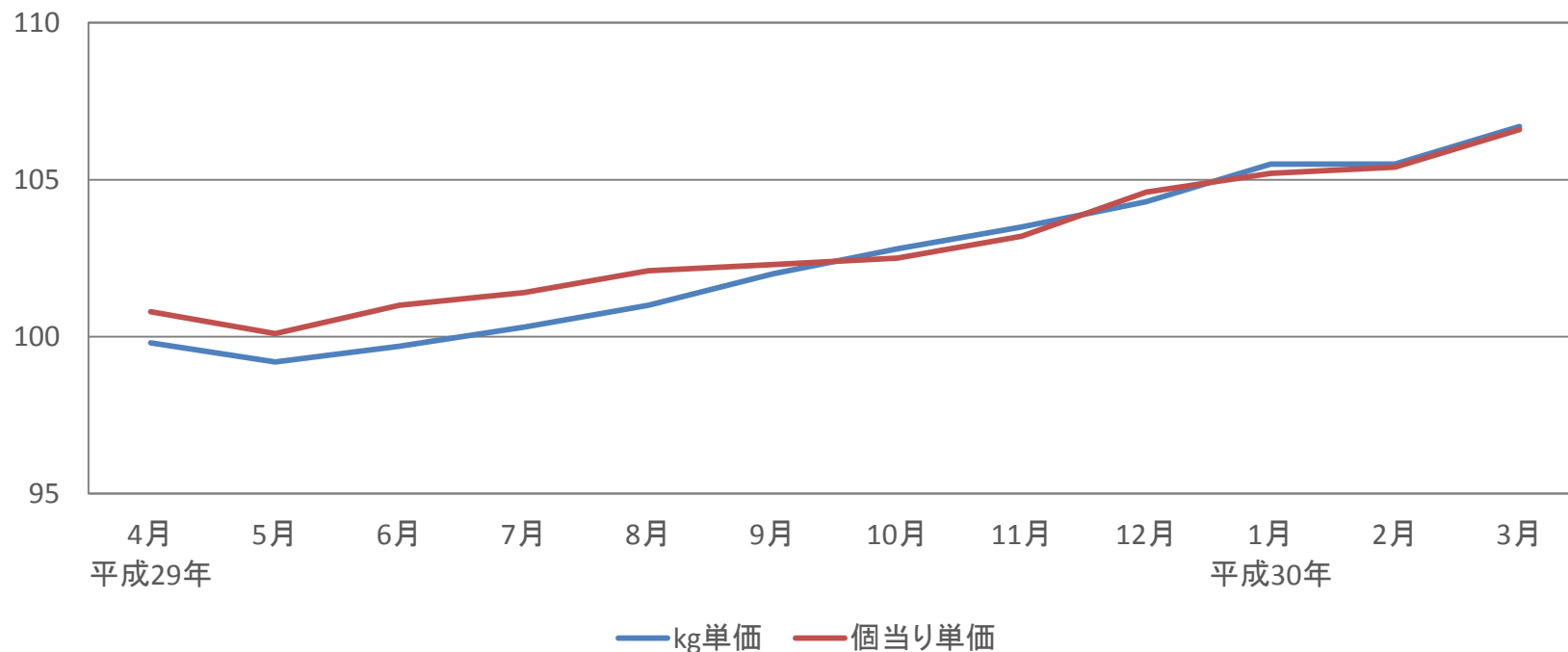
(単位:百万円)

(前期比)



## 運賃是正

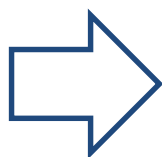
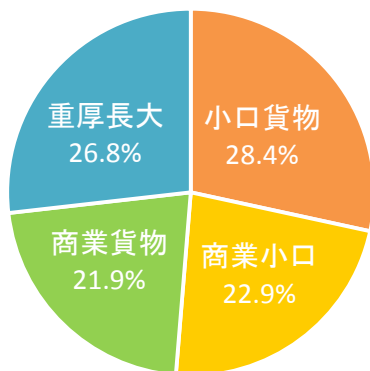
(前年同月比/単位:%)



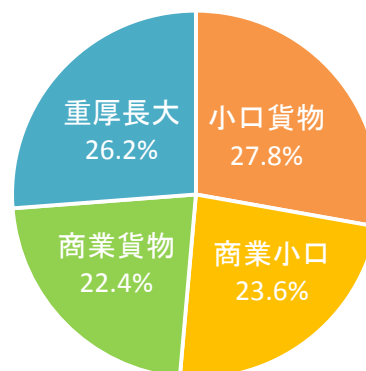
kg単価はB to Cの見直しにより4~6月では微減となるも、7月以降は物量の増加や運賃の値上げが寄与し、単価の改善において着実に成果が出ています。平成30年3月期では前期比102.6%、平成30年3月単月では前年同月比106.7%となりました。

## ■ 運賃占有率推移

平成29年3月期

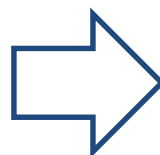
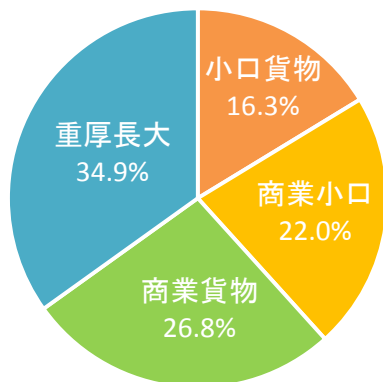


平成30年3月期

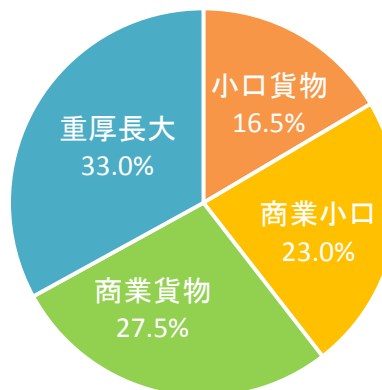


## ■ 重量占有率推移

平成29年3月期



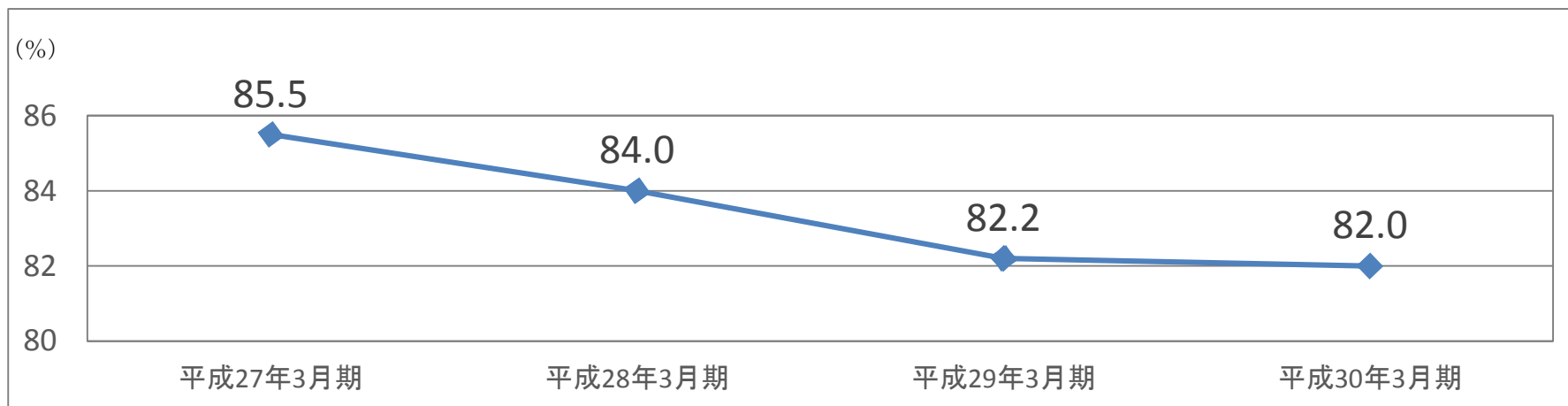
平成30年3月期



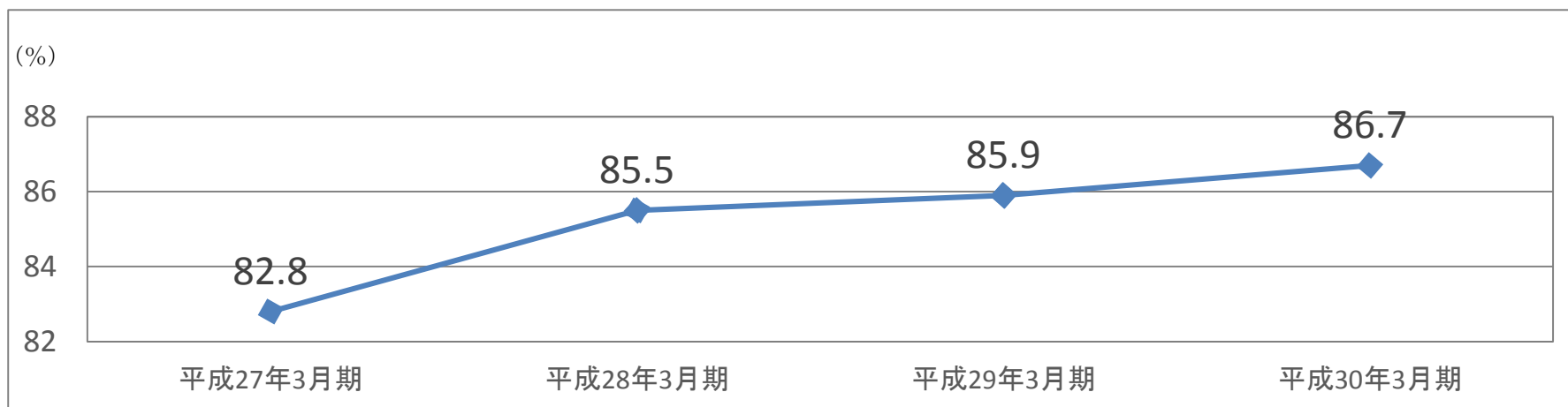
\* 当社の荷物分類定義  
小口貨物: 1件1個30kg以下  
商業小口: 1件5個120kg以下  
商業貨物: 1件6個121kg以上  
重厚長大: 1個100kg以上または1件500kg以上

## 運行便積載率と運行便自社化率の推移

### ■ 運行便積載率



### ■ 運行便自社化率



# 平成31年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	平成31年 3月期予想	平成30年 3月期実績	前期比	コメント
売上高	276,500	267,799	103.2%	運賃改定を進めることにより増収
営業利益 (営業利益率)	17,100 (6.2)	14,726 (5.5)	116.1%	人件費、外注費の増加は見込まれるが生産性の向上等により増益
経常利益 (経常利益率)	18,300 (6.6)	16,119 (6.0)	113.5%	利払いの削減と受取配当金の増加により増益
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,200	10,664	114.4%	コスト増加要因はあるが特別損益の改善もあり増益